

記者発表（資料配布）				
月 日 (曜日)	担当所属名	T E L	発表者名 (担当部長名)	その他の配布先
6月7日 (水) 10:00	ひょうごボランティア プラザ	078-360-8845	所長代理 鬼本 英太郎 (次長兼総務調整部長 松原 富美子)	県政記者クラブ

平成29年度ひょうごボランティアプラザ 被災地「絆」ボランティアバスの実施について (県立高等学校実施分)

ひょうごボランティアプラザでは、東日本大震災発災直後から、被災地支援ボランティアバス事業を実施し、高校生をはじめとするより多くの県民による現地でのボランティア活動を支援してきました。

今年度は、東日本大震災の被災地に加え、新たに熊本地震被災地への継続的支援も加え、県教育委員会の協力を得て、県立高等学校に参加を募ったところ、昨年度の576人を上回る633人・延べ37校（予定）の県立高校生等が、7月～3月にかけてプラザのボランティアバスで現地へ赴き、仮設住宅等の被災者を励まし、交流し、被災地との絆を深めることとなりましたので、お知らせします。

1 応募状況

- (1) 申請学校数 19校（うち1校が初申請） ※東日本17校、熊本2校
- (2) 参加学校数 37校（複数校による協働実施を含む。）
- (3) 参加人数 633人（予定：スタッフを含むと728人。そのうち初参加514人）

2 目的・効果

当プラザは、高校生をはじめとするより多くの県民と東日本大震災や熊本地震の被災者との絆を深め、助け合いの文化をつなぎ、今後懸念される災害への備えとする活動の継続を支援するとともに、阪神・淡路大震災を経験していない高校生など若い世代については、東日本大震災や熊本地震の被災地を見ることを通じて学びを深めてもらうことも含めて、ボランティアのすそ野が広がるよう支援していく。

3 今年度の特徴

- ・ 神戸高校、西脇北高校、多可高校、豊岡総合高校、西脇工業高校は6回、明石南高校、佐用高校、西脇高校は7回、舞子高校は8回実施と、東北被災地と支援・交流の絆を深め、継続して活用している学校が多数である。
- ・ 尼崎小田高校と社高校が、初めて熊本地震被災地で支援活動。
- ・ 淡路三原高校が、南あわじ市内の市立中学校6校と協働実施。高校生と中学生と一緒に活動。

(参考1 平成29年度 実施予定校一覧)

実施時期	参加校 (下線 申請校、ゴシック 初申請)	台数・ボランティア参加人数 (() 内数スタッフ含む)	訪問先	活動(交流)場所等
7/14～16	<u>佐用高校</u>	1台・22人 (25人)	宮城県石巻市	仮設住宅、学校
7/15～17	<u>西脇高校</u>	1台・40人 (46人)	宮城県南三陸町	復興住宅
7/20～23	<u>西脇北高校</u> 、 有馬高校、小野工業高校、 青雲高校	2台・50人 (60人)	宮城県石巻市、 南三陸町	仮設住宅、学校、 その他
7/24～27	<u>神戸高校</u> 、 東灘高校、御影高校、 神戸市立葺合高校	2台・64人 (74人)	宮城県南三陸町	仮設住宅、学校
7/29～31	<u>西脇工業高校</u>	1台・40人 (44人)	宮城県石巻市	地元NPO等
8/2～4	<u>舞子高校</u>	1台・35人 (40人)	宮城県東松島市、 石巻市、多賀城市	仮設住宅、学校
8/2～4	<u>淡路三原高校</u> 、 南あわじ市立中学校6校 (南淡、三原、西淡、 沼島、広田、倭文)	1台・32人 (38人)	宮城県東松島市他	仮設住宅、学校
8/4～7	<u>社高校</u>	1台・22人 (25人)	熊本県益城町	仮設住宅、復興屋 台村
8/6～9	<u>豊岡総合高校</u> 、 日高高校、 大岡学園高等専修学校	1台・20人 (23人)	宮城県石巻市、女 川町	仮設住宅、病院、 学校
8/10～12	<u>宝塚東高校</u> 、 宝塚高校	1台・40人 (44人)	宮城県東松島市、 石巻市、松島町	防災集団移転団地、 学校、その他
8/13～16	<u>高砂南高校</u>	1台・21人 (23人)	宮城県気仙沼市	仮設住宅、海水浴 場
8/17～20	<u>香寺高校</u>	1台・27人 (30人)	宮城県石巻市、名 取市	仮設団地、老人福 祉施設
8/20～23	<u>尼崎西高校</u>	1台・25人 (30人)	宮城県仙台市、名 取市、南三陸町	仮設住宅、学校
8/22～25	<u>西宮香風高校</u> 、 西宮南高校、社高校、 神戸甲北高校、	2台・50人 (66人)	宮城県仙台市	学校、その他
9/28～10/1	<u>赤穂高校(全日・定時制)</u>	1台・30人 (35人)	宮城県気仙沼市	仮設住宅、商店街、 学校、その他
12/10～13	<u>多可高校</u>	1台・27人 (30人)	宮城県七ヶ浜町	幼稚園、老人福祉 施設
12/25～28	<u>星陵高校</u>	1台・40人 (43人)	宮城県名取市	仮設住宅、老人福 祉施設、学校
3/15～18	<u>尼崎小田高校</u>	1台・28人 (30人)	熊本県熊本市、阿 蘇村、益城町	仮設住宅、病院等
3/26～29	<u>明石南高校</u>	1台・20人 (22人)	宮城県南三陸町	仮設住宅、学校、 その他
	申請校：19校 参加校：37校	22台・633人 (728人)		

(参考 2 平成 28 年度 東日本大震災ボランティアバス実施県立高等学校等の数)

年 度	申請学校数	実施台数	参加人数 (() 内数はスタッフ含む)	備 考
平成 28 年度	19 校	21 台	576 人 (667 人)	

※ 平成 23 年 3 月～平成 29 年 3 月までの東日本大震災支援ボランティアバス実績 (全体)
240 回 339 台 8,240 人